

令和3年度優秀賞受賞者による

教養卒論発表会

自ら課題を設定し、協働的に探究する。

東京工業大学の学士課程教養教育の集大成である「教養卒論」。優秀賞に選ばれた学生有志による発表会を3年ぶりに開催します。発表会終了後、発表者との交流や意見交換もできます。ぜひ、足をお運びください。

*「教養卒論」は、学士課程3年次後期の必修科目。受講生は、自ら課題を設定し、授業のなかで探求を深め、その成果をひとつの論文としてまとめ上げます。執筆の課程で受講生は、教員から論文の書き方指導を受けるだけでなく、「ピアレビュー」を複数回実施することで、互いの執筆をサポートしあいながら論文を書いています。



2022年7月21日(木)

17:30~20:00

対象：東工大在学生、教職員、
ならびにその関係者

予約：不要 参加費：無料

場所：東京工業大学大岡山キャンパス
西9号館E棟デジタル多目的ホール



主催：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
問い合わせ先：core@ila.titech.ac.jp

プログラム

17: 30～17: 35	山崎太郎リベラルアーツ研究教育院長挨拶
17: 35～17: 45	授業趣旨の説明
17: 45～18: 40	優秀賞受賞学生による発表 第1部
18: 40～18: 45	休憩
18: 45～19: 40	優秀賞受賞学生による発表 第2部
19: 40～19: 55	益一哉学長、井村順一教育担当理事・副学長からのご講評
19: 55～20: 00	クロージング
20: 00～20: 30	情報・意見交換会 (希望者のみ、飲み物各自持参)

発表者一覧

第1部 (17:45～18:40)

※発表はひとり5分、全員発表の後に質疑応答8分

- (1) 奥村 拓実 (理学院 物理学系)
「子ども至上主義を打ち壊す」
- (2) 塩澤 理紗 (情報理工学院 情報工学系)
「名探偵コナンで平成を振り返る—平成時代の技術発展が作品に及ぼす影響—」
- (3) 渡部 晃子 (環境・社会理工学院 融合理工学系)
「融合理工学系って何?—教授・生徒71の生の声から—」
- (4) 柏倉 キーサカリル (理学院 地球惑星科学系)
「若者がInstagram利用時に疲れ・孤独感を感じるメカニズムとその対処法」
- (5) 篠田 達也 (生命理工学院 生命工学系)
「日本人とアメリカ人の核認識の違いから異文化理解を考える」
- (6) 森 英寿 (理学院 地球惑星科学系)
「生産性至上主義に対する抗弁」
- (7) 北川 翔 (工学院 機械系)
「自立した教養の修得の必要性和東京工業大学学士課程におけるリベラルアーツ教育の課題」
- (8) 三谷 真太郎 (生命理工学院 生命工学系)
「楽な娯楽は楽しいですか?」

第2部 (18:45～19:40)

※発表はひとり5分、全員発表の後に質疑応答8分

- (9) 中野 新太郎 (理学院 物理学系)
「数学が見る夢」
- (10) 佐藤 環 (理学院 地球惑星科学系)
「『仮面の告白』を踏まえて考える、性・生の可能性」
- (11) 深澤 元喜 (生命理工学院 生命工学系)
「鑑賞と制作から見る芸術—わたしの作品を通して考える芸術という行為—」
- (12) YEOM SANG EUN (理学院 化学系)
「新しい言語を習うということ」
- (13) 上田 拓海 (工学院 電気電子系)
「アイドル歌謡半世紀の変化」
- (14) 佐藤 隆 (理学院 地球惑星科学系)
「大岡山周辺の遺構について」
- (15) JANG JAE HYO (環境・社会理工学院 融合理工学系)
“Contemplation on Science and Liberal Arts and Their Correlation”
- (16) YEHUDA HAMONANGAN SIDABUTAR (環境・社会理工学院 融合理工学系)
“Open Collaborations and Its Future”